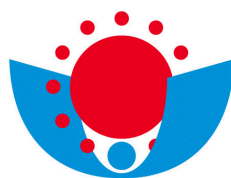


令和 3 年度  
浦添市てだこ市民大学

事業報告書

令和 4 年 3 月  
市民協働・男女共同参画課



てだこ市民大学

## 目 次

|                 |       |    |
|-----------------|-------|----|
| 1 講座の実施状況       | ..... | 1  |
| 2 目標の達成状況       | ..... | 3  |
| 3 講座等の記録（第1回講座） | ..... | 4  |
| （第2回講座）         | ..... | 9  |
| （第3回講座）         | ..... | 14 |
| （第4回講座）         | ..... | 18 |

### 【参考資料】

浦添市てだこ市民大学実施要綱

令和3年度浦添市てだこ市民大学実施要領

浦添市てだこ市民大学沿革

# 1 講座の実施状況

## (1) 概要

本市では、平成30年3月に策定した第四次浦添市まちづくり生涯推進基本計画において、「『まちづくり協働』による『共生・循環型社会』の実現」を取組方針として掲げ、「『てだこ市民大学』の拡充と講座の充実」を取組内容の一つとしました。

令和3年度の浦添市てだこ市民大学(以下、「市民大学」)は、これまでの実績を踏まえ、「求む！うらそえ応援団」をテーマに講座を開催しました。昨年度は4月に国の緊急事態宣言が発令され、さらに7月には沖縄県の緊急事態宣言も出されたことから、今後も続くであろうことが予想されるコロナ禍に対応していくため、市民大学のオンライン化へ向けた取り組みを始めました。そのかいあって今年度はZoomを使ったライブ配信や録画配信の講座を開催し、感染状況にかかわらず予定していた講座をすべて無事実施することができました。

## (2) 期間(講座数)

令和3年5月～令和4年1月(4講座)

## (3) テーマ、目的と目標

### 【テーマ】

求む！うらそえ応援団

### 【目的】

- ① 「うらそえ」のまちを知る
- ② 協働によるまちづくりを学ぶ
- ③ 協働のきっかけをつくる

### 【目標】

- ① うらそえのまちについて、魅力と課題に気付く
- ② 協働によるまちづくりを学び、当事者の意識をもつ
- ③ 協働によるまちづくりへの意欲を向上させ、活動のきっかけとする

(4) 令和3年度 浦添市てだこ市民大学の講座一覧

| 回 | 日時                          | 講座名及び受講者数                                     | 講座内容  | 受講方法                 |
|---|-----------------------------|---|---|----------------------|
| 1 | 6/26(土)<br>10:00～<br>12:00  | ① 学長講話<br><br>② 『Zoom でつながろう』<br><br>受講者数：22名 | ○浦添の姿を知る<br>○浦添の将来像を知る<br>講師：浦添市長 松本 哲治 氏<br><br>○Zoom を使ってオンラインで繋がることを体感してみる<br>講師：総務省地域情報化アドバイザー<br>鈴木 邦治 氏 | ① 動画配信<br><br>② Zoom |
| 2 | 8/28(土)<br>10:00～<br>12:00  | 『市民協働を始めよう』<br><br>受講者数：10名                   | ○市民協働について知る<br>講師：琉球大学地域連携推進機構<br>特命准教授 畑中 寛 氏  | Zoom                 |
| 3 | 10/23(土)<br>10:00～<br>12:00 | 『地域で育てる子どもたち』<br><br>受講者数：22名                 | ○地域における子ども支援について知る<br>講師：こども支援センター<br>ゆいまわる<br>代表 仲間 知穂 氏   | 動画配信                 |
| 4 | 1/22(土)<br>10:00～<br>12:00  | 『うらそえの歴史』<br><br>受講者数：29名                     | ○てだこのまち浦添の歴史を知る<br>講師：琉球歴史文化研究所<br>クボウグランデ<br>所長 賀数 仁然 氏  | 動画配信                 |



## 2 目標の達成状況

令和3年度浦添市てだこ市民大学実施要領に基づき、目標の達成状況を把握するため、受講者に対するアセスメントを行いました。アセスメントの結果（年度平均）は以下の通りです。

|   | 項目                    | 評価  |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | うらそえのことが好きだ           | 4.5 |
| 2 | うらそえの将来像をイメージすることができる | 3.4 |
| 3 | 地域の課題に興味を持った          | 4.1 |
| 4 | 地域の課題は自分のことだと感じる      | 3.8 |
| 5 | 協働によるまちづくりに参加してみたいと思う | 3.9 |
| 6 | 協働によるまちづくりについてもっと知りたい | 4.1 |
|   | 評価平均                  | 3.9 |

\*評価の基準：5（とてもよくあてはまる） ⇔ 3 ⇔ 1（全くあてはまらない）

アセスメントは、講座受講後のみ評価となっています。6項目とも中央値3を超えており、評価平均も3.9となっているので年間を通して良好な評価であったことがうかがえます。次ページ以降に各講座のアセスメントと講座内容のアンケート結果を記します。



### 3. 講座等の記録

#### 第1回「Zoomでつながろう」

令和3年6月 26 日(土) 10:00~12:00

講師:総務省 地域情報化アドバイザー

鈴木 邦治 氏

#### アセスメントの結果

\*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

#### 1 アセスメント項目ごとの評価

|   | 項目                    | 評価  |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | うらそえのことが好きだ           | 4.3 |
| 2 | うらそえの将来像をイメージすることができる | 3.4 |
| 3 | 地域の課題に興味を持った          | 3.9 |
| 4 | 地域の課題は自分のことだと感じる      | 3.6 |
| 5 | 協働によるまちづくりに参加してみたいと思う | 3.7 |
| 6 | 協働によるまちづくりについてもっと知りたい | 3.9 |

#### 2 講座内容について

##### 1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

①協働ときいてもハードルが高く感じてしまうが、市長のお話はわかりやすく、協働を自分のこととして捉えることができた。今後の浦添の発展に興味をもって参加していきたいと思う。だからこそ余計に、最初に感じるハードルの高さをどうやれば低くできるか、気軽に協働に参加できるかということが問題だと感じた。今回の市民大学の講座は、その第一歩となったと思うので、今後も期待したい。オンライン講座がもっともっと増えると嬉しいです。皆様お疲れ様でした。

②時間の割り振り、共有方法の手間取る時間が気になった。

『初心者のための』ZOOM 研修会ということだったので、もう少し噛み砕いてほしかった。こういうことなら前もって資料添付をしてもらい、各自揃えても良かったのではないかと最後に質問時間もなくなり残念だった。また、最後の顔出ししてない人への「退出お願い」も、もう少し丁寧な言葉を選んで頂きたかった。最初の案内で「終了時に撮影があるので・・・」として断りがあれば良かったかも。ZOOM ホスト予定があるため期待して

の参加だったが、内容が繋がっていない感があり、少し期待はずれだった。でも、初めての研修会開催につき、ご苦労も多々あったかと思います。ありがとうございました。

※学長講話について

壁の地図の指し示す物が気になった。ペーパーナイフ？持ち手もあり、見方では凶器に見えたり、壁を擦る音にドキッとしたりとして内容が頭に入らなかった。普通の指し棒で良かったのでは？

- ③Zoom 講座ということで、Zoom に詳しい方からお話を聞けるのを楽しみにしていたが、初心者向け講座ということで、あまり目新しい情報はなかった。また、メールで届いた講座に参加するためのリンクが機能せず、講座に入室するまでに少し手間がかかった(電話でパスワードを確認する必要があった)。
- ④ゲストとしての基本知識が理解できました。ホストとしては、私の知識では無理だと気づきました(後半はほとんどついていけませんでした)。
- ⑤確かに「初心者のための…」と銘打たれていましたが、思った以上に初歩的な内容でした。ZOOM の「使い方講座」と「ホスト運営講座」は別の回で実施した方がいいと思います。
- ⑥これまで ZOOM は参加者側でしか使ったことがなかったのですが講座をきいて主催者側としてなにか ZOOM でやってみたいと思いました。画面の表示の切替や途中でチャットや絵文字をいれたりという技をこれまでやったことがなかったのでとても勉強になりました。
- ⑦ZOOM のダウンロード、インストールから教えて頂きたかったです。携帯は知人、タブレットは職場に持ち込んで後輩にやってもらいました。自宅の PC は自分で苦勞しました。講座前の前日の事前練習があったのは助かりました。講座前半は良かったのですが休憩後は難し過ぎるのと初心者には unnecessary 部分かと思いながら聞いていましたし、結局理解出来ませんでした。PC とタブレットで画面表示が若干違っていたりと色々質問もしたかったのですが、午後からの予定も有り質問されている方が居る途中で退出するしかなかったのは残念でした。すでに出来る感じの方も居て受講者の差を感じました。市長さんの手に持っていた指示棒？はペーパーナイフ？なのでしょうか？でも使うべきではないと思いました。

⑧Zoom の詳しい内容を体験ができたことがよかった。講師陣、スタッフがよく準備されているのが理解できた。今後 Zoom の主催者になることもできそうだと、少し自信につながった。松本市長が将来のまちづくりビジョンを明るく話してよかった。そのようになるとよい。皆で考えていくことが大切です。

## 2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

- ①基地返還後のまちづくりについて市長が話していた内容が興味深かったです。私なら、返還後の跡地は、映画やドラマなどの撮影地にします。いくつものスタジオや、自然を生かしたロケ地を用意して、ハリウッドや太秦映画村のような一大ロケ地にします。撮影班の長期滞在により、人材の雇用や周囲の飲食店、関連事業などに対する経済効果に加え、観光スポットにもなるので良いのではないかと思います。
- ②返還前と後のキャンプキンザーの中に入って見学する機会があれば、ぜひ参加したい。
- ③多くの市民団体が、Zoom を利用して交流をしたい(ホストとして)と思っていると予想します。しかし、私のような60代を過ぎるとIT知識に弱いので、短時間でホストを理解するには無理でした。最低2時間×3回は必要だと思います。
- ④今回の講座テーマであるZOOMに関して…であれば、子どもたちの交流に活用してはどうかと思います。各小学校間、各中学校間、あるいは小中学校を結んで小6生と中1生での交流会があるとおもしろいと思いました。
- ⑤かりゆしセンターの○サークルの代表とジム利用者です。緊急事態宣言中で現在の閉館は仕方のない事だと思いますが、昨年からのコロナ禍で相次ぐ休館にサークルの中止などで中高年の行き場が無くなってしまい、心身に不調が出ている人もいます。中高年にタブレットを貸し出して運動や講座など自宅に居ても交流ができる環境を整えて頂けたらと思っています。その為にも自分もZOOMのホストになれるぐらいマスターしたかったのですが今回の講習の感じでは難しくハードルが高い様に思えました。今後、直接対面指導でのZOOM講座がありましたら受講したいと思っています。なので市に無料ZOOM講座を依頼できる環境を作って頂き、受講者も団体(サークルや中高年の仲間等)で申し込みが出来たら同じレベル同士となりやすいので今回、私を感じた『おいてけぼり』の感じが無くなるではと思いました。



⑥講座でも受講者同士が、コロナ禍で自宅から、会議ができるようにチャンスを作ってほしいです。チャンスがあって、経験をこなすことが大切だと思います。

### 3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。

#### (自由記入)

①具体的なものは思いつきませんが、Zoom 講座が楽しかったので、今後も開催してほしいです。質疑応答や、受講者同士のコミュニケーションが取れる内容だと嬉しいです。

②現在活動している多くの市民団体の紹介、例えば市内子ども食堂を運営されている人や、市内美らまちサポーター等団体紹介を YouTube で紹介しながら、市民から希望者を募り、地域課題を自ら発見し、課題解決に取り組むプログラムによる、更なる市民活動設立支援に取り組む。全国的には小学校区まちづくり協議会設立に取り組む自治体が多くなっています。

③コロナ禍で現在は活動を休止していますが、再開できたときに備えてイベントの広報や周知方法についてアイデアをお持ちの方からお話を聴いてみたいです。

④浦添市の歴史(浦添市の成り立ち、地域による名所、民話や言い伝えなど)、モノレールでだこ浦西駅周辺の今後、桑の事(桑の育てかた、自宅の桑の葉の利用法、商品など)、沖縄の薬草(育てかた、料理方法など)、終活(家族が居る場合は亡くなくても手続きをする人がいますが、シングルでパートナーに子供もいない場合などの事前準備?)、定年前に定年後の事(継続雇用制度、退職金、税金、国民健康保険料や介護保険料などの社会保険料)、中高年が運動できる機会や場所、指導者の紹介、お勧めなウォーキング道路や公園などの利用時間、シルバー人材(定年後の仕事のあり方)、浦添市のボランティア(団体や参加方法など)、マイナンバーカードについて。

⑤地域と貧困問題をとおしてのまちづくり。





令和3年度浦添市てだこ市民大学 第1回公開講座  
初心者のための  
**Zoom** 講座  
参加無料

# 浦添市てだこ市民大学 雑記帳 第38号

## 令和3(2021)年 7月

### 【学長講話】

令和3年6月28日土曜日、松本哲治学長動画出席のもと、令和3年度浦添市てだこ市民大学が開講されました。学長からは、今のうらそえの姿と、これからのうらそえについて、講話がありました。

今年度のてだこ市民大学は、開講式直後の第1回講座から、令和4年1月19日の閉講式を含め全4回の講座を予定しています。



### 【第1回公開講座 Zoomでつながろう】

開講式のあとは、現在コロナにより停滞気味な市民活動を、オンラインツールの活用により継続させることを目指し、第1回公開講座が開催されました。

講師に、地域情報化アドバイザーの鈴木邦治氏をお招きし、Zoomを使ってオンラインで繋がることを体験しました。

第1部では、Zoomミーティング画面に表示されるマイクやビデオ、リアクション等のアイコンの説明・使い方をレクチャー。

第2部からはホストをする際の注意点の説明、第3部では会議以外でのZoom活用方法を学びました。

画面共有機能を学ぶ際には、受講者2名が画面共有(ホワイトボード機能を使用)にチャレンジする等、講師の話の間だけでなく、受講者も参加しながら、体験型の講座となりました。



途中、画面の切り替えや進行が上手くいかなかった場面もありましたが、皆さんに最後まで温かく見守っていただき、無事、てだこ市民大学初のオンライン講座を終えることができました。

コロナの厳しい状況が続いていますが、今回の講座をきっかけに、オンラインツールを上手に使いこなし、市民活動に役立てていただけると幸いです。

#### ＼ 受講者からの声 ／

- ・ Zoomの体験ができてよかった
- ・ Zoomでホストをすることに少し自信が持てた
- ・ 知らない機能を体験できて勉強になった
- ・ Zoomのダウンロードから教えてほしい
- ・ ホストの説明は難しかった
- ・ 第1部と第2部は講座を別にしてほしい

次回の講座は・・・

「市民協働をはじめよう」

8月28日(土)10時～12時

\*Zoom配信

## 第2回「市民協働を始めよう」

令和3年8月28日(土) 10:00~12:00

講師：琉球大学 地域連携推進機構

特命准教授 畑中 寛氏

### アセスメントの結果

\*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

#### 1 アセスメント項目ごとの評価

|   | 項目                    | 評価  |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | うらそえのことが好きだ           | 4.6 |
| 2 | うらそえの将来像をイメージすることができる | 3.8 |
| 3 | 地域の課題に興味を持った          | 4.8 |
| 4 | 地域の課題は自分のことだと感じる      | 4.4 |
| 5 | 協働によるまちづくりに参加してみたいと思う | 4.8 |
| 6 | 協働によるまちづくりについてもっと知りたい | 4.8 |

#### 2 講座内容について

##### 1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

- ①「市民協働をはじめよう」素晴らしい講座内容ありがとうございました。所管課以外の職員を含めて、参加者が少なかったのが残念です。
- ②「まちづくり」に興味を持ったのは最近で、住んでいるからにはもっともっと良い街で地域の繋がりもある所であって欲しいという思いで参加したのですが、益々関心を持ちました。今後も勉強する機会を持ちながら何らかの形で関わっていけたら、という思いが湧いてきています。「市民協働」のまちづくり実践地域として浦添市が沖縄県で先駆的な街になれば良いですね。
- ③「まちづくり」には、色々な書き方があってそれぞれ違う意味を持つものだと知ることができた。普段、協働を意識しながら仕事をしてはいますが、深いところまで理解できていなかったもので、いい機会になりました。ありがとうございます。

④市民活動支援の仕事をしている立場から、今回の浦添市ハーモニーセンターさんの「市民協働をはじめよう」講座を受講させていただき、とても勉強になりました。ありがとうございます。以下、勉強になった点です。

・全体として、オンラインでの講座が丁寧かつスムーズで、気持ちよく受講できました。(音声や画質、カメラの切り替え、島袋さんや上間さんの落ち着いた説明などとても聴きやすく分かりやすく、ストレスなく聴き取れました。)

・最初に松本市長の動画で市長の浦添愛や受講生自身がまちづくりの当事者、一緒に浦添をつくっていかう、というメッセージが伝わり、モチベーションに繋がりました。

・畑中先生の「市民協働をはじめよう」の内容は、「協働」の定義や地域公共人材の育成プログラムについて、とても分かりやすく、直で私の業務に役立つものでした。むしろ、私のような立場(行政や人材育成をする立場)の人間を対象としている内容だったのではないかと(大城喜江子さんや上江洲さんも同様の立場なのかな)、と思いました。そういう意味では、ほかの受講生の受講動機とマッチしているかどうかは気になりました。つまり、純粋に市民協働(活動)をしたい、という受講生のニーズは、協働(活動)をはじめめるうえでの最低限の協働の定義や心構え、またどういった支援メニューがあるかを知りたいのではないかと思います。私の印象では、今回のテーマタイトルは「市民協働を今一度考えよう～協働人材を育てるプログラムの紹介～」だったのかなと。純粋に活動のはじめのころのヒントを求めている受講生にとっては難しい内容だったのではないかと思います(もちろん、地域公共政策士の受講に結びつけられればとてもいいと思いますが)。このあたり、ほかの受講生アンケートから、どう読み取ったかを後日同業者としてシェアさせていただけると嬉しいです。

⑤協働における多機関の連携について、初めて耳にする機関名もあったため、各機関の取組を学んでいきたいです。

## 2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

①浦添市在住、または市内職場勤務の地域公共政策士がいらっしゃったら、ぜひ約300名のてだこ市民大学 OB と繋げて頂き、市内の課題解決に取り組みたい。

②私も含めて高齢化社会となっていくのに、周りでは IT に苦手意識が先に来て触らない...という人も多いです。コロナ禍で人との接触が自由に出来ず、家に籠る事で身体機能もコミュニケーション力(認知機能)も落ちて心配です。実際に会ってコミュニケーションを取るのが一番ですが、コロナ禍の今こそ ICT を活用した繋がりを持てるのも選択肢の一つだと思います。それはコロナ後でも、今後身体機能が衰えて自由に歩き回れなくても人との繋がりを持てる事にもなります。先ず使えるようになる事。出来る人がボランティアで教えて、その会場を市で提供する。そして地域のコミュニティでも活用するシステムを作る。対面とオンラインが合同となるハイブリット型集会。そんな形ができたらと思います。

③浦添市のまちづくりについて私ども、なは市民活動支援センターとして2ヶ月に一回程度のハーモニーセンターさんとの意見交換会で教えてもらうことができ、とても貴重に思っています。おとし 2019 年度には、宜野湾市さんも含めた三市合同市民活動交流会の開催(沖縄国際大学にて)もありました。そこで、カーミージー里浜保護や浦添城跡前田高地ハクソー・リッジの戦跡から学ぶ取り組みについて知ることができました。また、モノレール駅開通に伴う駅周辺のまちづくり(スマートシティ)や GIGA スクールの動きにも注目させてもらっています。松本市長がおっしゃっていたように、キャンプキンザー跡のまちづくりがビッグプロジェクトとして今後あるなかで、やはり、市民協働のプロセスが今後本当に大事になってくると思います。

「うらそえまちづくり協議会」さんはじめ市民活動団体と行政との日頃の関係性、コミュニケーションが大事だと思いますので、ここは、那覇市も同じ課題なのですが、仕組みとして、市民協働の提案を市民から受け止める相談窓口や受け止める職員の力量を高める研修の強化など、行政の環境整備が必要だと思います(私の、また私が属する組織の課題、チャレンジでもあります)。

④モノレール・路線バス・自家用車を組み合わせた、移動にまつわるコツの勉強会の開催(パーク & ライド の推進)。

### 3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。 (自由記入)

①市民協働団体、個人のネットワークづくりをテーマに講座開設希望。

②カーミージー里浜や浦添城跡、駅周辺まちづくり、ピアラル浦添など協働で行っているまちづくりについて。

※オンライン講座、とてもいいと思います。

有料はいいと思いますが、支払い方法については、メリット・デメリットありますよね。また、このシートですが、「アセスメントシート」は少々、専門用語っぽく難しい印象があるので、「アンケートシート」でもいいのではないかな、と思いました。

また意見交換させてください。浦添ハーモニーセンターの皆さん、お疲れ様でした！

③ 社会教育(博物館、図書館、公民館等の取組)。





## 第2回公開講座 市民協働を始めよう

令和3年8月28日土曜日、「コロナでもまちづくりをあきらめない」をテーマに、第2回公開講座が開催されました。講師は、琉球大学 地域連携推進機構 特命准教授の畑中寛先生。講座は、松本哲治学長による講話(録画)のあと、1. 市民協働とは何か、2. 地域公共人材の育成と地域課題解決について、3. 質問タイムと、約1時間半、Zoom配信で行われました。

第1部では、市民協働の定義や、協働の主体、方法、新しい公共など、協働について基礎的なことを学びました。

第2部では、地域公共人材の育成の取り組み、地域の課題解決の手法をご紹介いただき、「沖縄地域公共政策研究会」による地域課題解決の事例を学びました。



今回、市民協働をこれから始めてみたい方へ、基礎的なこと、そして、次のステップに繋がるような内容をご提供させていただきました。

これを機に、皆様のまちづくりに対する情熱がさらに高まり、次のアクションに繋がれば幸いです。

### 受講者の声

- 松本市長の浦添愛が伝わった
- まちづくりに益々関心を持った
- 団体・個人のネットワーク作りをテーマにした講座の開設を希望
- 協働について深く理解する、いい機会になった

### 次回の講座は

「地域で育てる子どもたち」  
10月23日(土)10時~12時

講師: 仲間知穂 氏  
こども相談支援センターゆいまわる代表

\*Zoomにて録画配信\*

お問い合わせ

浦添市 市民部 市民協働・男女共同参画課  
TEL/098-874-5711 FAX/098-874-5890  
MAIL/siminkyodo@city.urasoe.lg.jp

▼ホームページ



▼Facebook



てだこ市民大学

## 第3回「地域で育てる子どもたち」

令和3年10月23日(土) 10:00~12:00

講師:こども支援センターゆいまわる

代表 仲間 知穂 氏

### アセスメントの結果

\*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

#### 1 アセスメント項目ごとの評価

|   | 項目                    | 評価  |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | うらそえのことが好きだ           | 4.5 |
| 2 | うらそえの将来像をイメージすることができる | 3.7 |
| 3 | 地域の課題に興味を持った          | 4.3 |
| 4 | 地域の課題は自分のことだと感じる      | 4.5 |
| 5 | 協働によるまちづくりに参加してみたいと思う | 4.3 |
| 6 | 協働によるまちづくりについてもっと知りたい | 4.3 |

#### 2 講座内容について

##### 1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

①ちょうど固有受容覚や前庭覚を勉強中でした。私は教員で作業療法の視点を取り入れた学習環境づくりを取り入れていきたいと考えていました。工夫はたくさんできると思います。注意する指導ではなくできることにとりくんでいける支援指導が継続できればと思います。ありがとうございました。

②頑張っている子どもたちを私たちが問題のある子だとしてしまって、そうした子どもたちの居場所を奪ってしまっていることに気づかされました。

③子どもの側に立った視点で、子どもたちを支援していきたいと思いました。

④今回の講座の中で“子どもの100%頑張っている姿に問題行動として名づけるのはいつも大人だ”というお話がとても印象に残っています。現在3人の子育てをしています。これまでではつい注意したり手を貸したりしていた出来事も子どもたちは興味や好奇心をもって頑張っている姿だったのかと考え直すことができました。余裕のない毎日の中でつい忘れがちですが、子どもの成長を止めることのないように見守っていきたいです。



⑤仲間講師の考えは、すごく共感するおはなしばかりで、とても良かったです。昔は、あたりまえのようにできていた地域との関りや公園でのあそびなど、今の子ども達にも経験してほしいです。

⑥現在、未就学児を子育て中なので、今後、子ども達が受ける教育の場がどうなっているのか知りたくて参加しました。子どもの教育を「学校」だけには任せない体制づくりが進められていることに安心しました。また専門家が学校に入ること、先生たちの負担が軽減され、子どもたちの課題解決につながるのはとてもよいことだと感じました。多様な子どもに対応できる、多様な学びの場や機会、仕組みが今後も進んでいくことを期待しています。その為には、大人たちが既成概念や過去の慣習に縛られることなく、新しい教育の在り方を学び、アップデートしていくことが必要だと感じました。私も引き続き、学んでいきたいと思います。講座の中で、コロナの影響により今後、発達障害の子どもが増えることが予想される。というお話があり、とても心配になりました。今からでもできること、今だからやるべきことを社会や大人が考えて早急に実行し、子どもたちへの悪影響を早急に食い止めなくてはいけないのでは、と思います。

## 2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

①浦添市でも、専門家の力を借りチームで子どもたちを支援して欲しい。

②公園の遊具を増やす。

③学校の校長先生で、地域との関係性をくずされないようにしてほしい。

④「教育関係者」に限定せず、多様な分野・職業の人が教育に携わることで、解決できる課題は多くあるのではないかと感じました。「子どもは地域で育てる」という意識で連携していくこと、その連携は、教育だけでなく、福祉や街づくりにもつながっていくと思います。私も現在、「沖縄の子ども達に演劇体験を届けよう！」というプロジェクトに関わっています。沖縄県内の演劇関係者が連携し子ども演劇プログラムを作成し、県内の幼稚園・保育園・学校等での出張上演を行うことで、1人でも多くの子ども達に良質な文化芸術体験の機会を創出することを目指しています。演劇を通して、表現することや、創造することの楽しさを伝え、子どもたちの心を育むことを目的としています。コロナ禍の今だからこ

そ、バーチャルでないリアルな体験が必要だと考えています。是非、浦添の子ども達にも「演劇体験」を届けたいです。

3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。

(自由記入)

①SDGsの目標と関連づけた講座。

②コロナ禍において多くの犠牲を受けたのは「子どもの学び・体験」の機会の損失だと思います。いまだからこそやるべきことはなにか！を考え、実践できる場があるといいな、と思います。





# 浦添市てだこ市民大学 雑記帳 第40号

## 令和3(2021)年 10月

### 第3回公開講座 地域で育てる子どもたち

令和3年10月23日土曜日、第3回公開講座が開催されました。

講師は、こども相談支援センターゆいまわる代表の仲間知穂先生。

講座は、1.「届けたい教育」を叶えるための学校と家庭と地域の連携、2. “できる”にフォーカスする子どもとの関わり方-作業療法の視点-、3. 質問回答など、約1時間半、Zoomにて行われました。(事前に収録した動画を配信)

第1部では、2人の子どもの事例から、“学校、家庭、地域が連携する際に必要な視点”“なぜ届けたい教育ができることは大切なのか”等、子どもの問題と思われる行動を解決するための考え方を解説していただきました。

第2部では、子どもの視点から考えるとはどういうことか、子どもたちの普段の行動から解説いただき、今日からでも実践できる子どもたちへの声かけなどを教えていただきました。



第2部の後半では、講座の開催方法変更前に受付した質問への回答、そして昨年テレビで放送されたこどもセンターゆいまわるの特集動画を視聴しました。

受講者からは、『これまでつい注意したり手を貸したりしていた出来事も、子どもたちは興味や好奇心をもって頑張っている姿だったのか、と考え直すことができた』などの声が寄せられました。

#### 受講者の声

- ・頑張っている子どもたちを私たちが問題のある子だとしてしまい、そうした子どもたちの居場所を奪ってしまっていることに気づいた。
- ・子どもの成長を止めることのないように見守っていきたい。

#### 次回の講座は

「浦添の歴史～浦添を築いてきた人々～」  
令和4年1月22日(土) 10時～12時  
講師: 賀数 仁然 氏

(琉球歴史文化研究所クボウグランデ所長)

\*Zoomにて録画配信

\*11/22受講申込受付開始!

お問い合わせ

浦添市 市民部 市民協働・男女共同参画課  
TEL/098-874-5711 FAX/098-874-5890  
MAIL/siminkyodo@city.urasoe.lg.jp

▼ホームページ



▼Facebook



## 第4回「浦添の歴史」

令和4年1月22日(土) 10:00~12:00

講師:琉球歴史文化研究所

クボウグランデ所長

賀数 仁然 氏

### アセスメントの結果

\*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

#### 1 アセスメント項目ごとの評価

|   | 項目                    | 評価  |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | うらそえのことが好きだ           | 4.4 |
| 2 | うらそえの将来像をイメージすることができる | 2.8 |
| 3 | 地域の課題に興味を持った          | 3.3 |
| 4 | 地域の課題は自分のことだと感じる      | 2.8 |
| 5 | 協働によるまちづくりに参加してみたいと思う | 3.0 |
| 6 | 協働によるまちづくりについてもっと知りたい | 3.5 |

#### 2 講座内容について

##### 1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

- ①とてもおもしろい。なぜ金属工場とわかったか知りたい。
- ②浦添市にいかに独特な歴史があったかを再認識できた。非常に参考になりました。
- ③県外在住者です。旅行では浦添を通りすぎてしまう事が多いのですが、こんなに歴史の重要な場所だったとは驚きました。一度行ったことがある浦添ようどれですが、もう一度行ってみたいと思われました。オンラインの講座は遠く住んでいる人でも受講出来るので助かります。また機会があれば受講したいです。
- ④浦添の歴史がわかりやすい解説で良く理解できました。賀数先生の郷土を愛する心が伝わり沖縄の先人たちの偉大さに感心しました。沖縄の素晴らしさがわかる(講義であった石積みの技術が日本の城と比較して250年進んでいる)内容でした。今後も沖縄の優れた技術が日本よりも先行して行われたことを学びたいです。

⑤人物が多いのと、短い時間なので仕方がないが、進みが早くて初心者にはついていくのが難しかった。一つの時代、あるいは一人の人物に絞ってもいいと思った。

⑥浦添の王統の歴史について学ぶことができ、大変良かった。また、賀数先生の話し方も楽しく、最後まで飽きることなく受講することができました。

⑦知らないことが多く、知ることによって魅力を伝えていくことができると感じたが観光コンテンツとしていく為にはよりハード面での整備も重要だと感じた。

## 2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

①直接質問したかった。

②浦添市の歴史もそうですが、県民が琉球の歴史を学ぶ機会があまりにも少ないため、小中学校の教育でも沖縄史、琉球の歴史に触れる機会がもっとあれば地元への誇りや愛着を持つことができ、それがうらそえだけではなく、沖縄全体をより良くすると思う。

③浦添生まれ、浦添育ちで、結婚を機に関西に住んでいますが、今回のようにリモートで参加できる講座があると嬉しいです。

④沖縄や浦添市の歴史に興味があったので、大変勉強になり楽しかった。

⑤地域の人々がより知ることができる機会が必要だと思う。と同時に知りたいと思える場所にしていくことが重要であり、ゲーム形式やコンテンツ化することが幅広く取っつきやすい手法であると感じる。

## 3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。(自由記入)

①英祖王の生涯。

②今回の浦添の歴史の続編で、その時代の琉球全体の歴史と照らし合わせながら浦添王統に与えた影響などが学べる講座。

③健康関連・生活の知恵(特産品、料理教室など)。



# 浦添市てだこ市民大学 雑記帳 第41号

## 令和4(2022)年 1月

### 第4回公開講座 浦添の歴史～浦添を築いてきた人々～

令和4年1月22日土曜日、第4回公開講座が開催されました。

講師は、琉球歴史文化研究所クボウグランデ所長の賀数仁然先生。

講座は、賀数先生による楽しい歴史のお話の後、事務局による簡単なおさらいクイズなど、約2時間、Zoomにて行われました。(事前に収録した動画を配信)

第1部では、浦添にいた3人の王の生い立ちや、冊封と交易の始まりは実は浦添であったことなどを解説していただきました。

第2部では、謎が謎を呼ぶ「瓦」のお話や、先進の石積み技術、浦添ようどれにあった、当時ではありえない金属工房のお話などを、楽しく、わかりやすく解説していただきました。

てだこ市民大学ならではのお話を聞いた受講者からは、「先人たちの偉大さに感心した」、「英祖王の生涯について知りたい」などの声が寄せられました。



#### 受講者の声

- ・賀数先生の郷土を愛する心が伝わり沖縄の先人たちの偉大さに感心しました。
- ・直接質問したかった。
- ・浦添生まれ、浦添育ちで、結婚を機に関西に住んでいますが、今回のようにリモートで参加できる講座があると嬉しいです。
- ・沖縄や浦添市の歴史に興味があったので、大変勉強になり楽しかった。

本日のおさらい！

### 浦添の歴史クイズ



第1問

「冊封と交易は浦添から」というお話がありましたが、琉球が交易品として983匹、中国へ送った動物はなに？

- A 犬      B 馬      C ハブ

令和4年度も公開講座実施予定です。  
皆様のご参加、お待ちしております。

監 日：堀江とろろ

お問い合わせ

浦添市 市民部 市民協働・男女共同参画課  
TEL/098-874-5711 FAX/098-874-5890  
MAIL/siminkyodo@city.urasoe.lg.jp

▼ホームページ



▼Facebook



てだこ市民大学

## 浦添市てだこ市民大学実施要綱

(令和3年3月11日市民部長決裁)

### (趣旨)

第1条 この要綱は、まちづくり生涯学習と市民協働の推進を図るため、市民が地域の資源及び課題並びに地域の課題解決に向けた市民協働の取組についてともに学ぶ講座を開設する浦添市てだこ市民大学(以下「市民大学」という。)の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (講座)

第2条 市民大学の講座(以下「講座」という。)は、定期講座又は公開講座とする。

2 講座の内容は、次に掲げるものとする。

- (1) うらそえの地域の資源及び課題に関すること。
- (2) 地域の課題解決に向けた市民協働の取組に関すること。
- (3) その他まちづくり生涯学習と市民協働の推進に資すると認められること。

### (対象者)

第3条 講座の対象者は、本市のまちづくり生涯学習及び市民協働に関心のある者とする。

2 市内に住所を有しない者が定期講座の受講を希望するときは、本市のまちづくりに取り組む意欲のある者を対象者とすることができる。

### (定期講座の受講手続)

第4条 定期講座の受講を希望する者は、次の事項を記載した受講申込書を市長に提出するものとする。

- (1) 氏名
- (2) 生年月日
- (3) 住所
- (4) 電話番号及びメールアドレス
- (5) 講座で学びたいこと及び市民協働により取り組みたいこと
- (6) その他受講にあたって必要な事項

2 市長は、前項の受講申込書を提出した者が前条の要件に該当すると認めるときは、受講を決定するものとする。

### (受講料)

第5条 市長は、市民大学の運営に必要な経費の一部を受講料として徴収することができる。

2 受講の決定を受けた者(以下「受講者」という。)は、受講料を市長が指定する日までに納付するものとする。

3 受講料は、受講者が講座を受講しない場合においても、返還しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(受講決定の取消し)

第6条 市長は、受講者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、受講の決定を取り消すことができる。

(1) 受講者が受講料を納付しないとき。

(2) 虚偽の申込により受講の決定を受けたとき。

(3) 他の受講者の迷惑となる行為のあったとき。

(4) その他受講の決定を取り消すことがやむを得ない事情があるとき。

(受講証書の交付)

第7条 市長は、定期講座の受講を終えた者に対し、受講証書を交付するものとする。

(実施報告)

第8条 市長は、市民大学の実施状況について、適宜に、浦添市まちづくり生涯学習推進本部及び浦添市まちづくり生涯学習推進協議会に報告するものとする。

(学長及び運営支援サポーター)

第9条 市民大学の学長は、市長をもって充てる。

2 学長は、講座に参加することができる。

3 市長は、市民大学の運営を支援するため、運営支援サポーターを置くことができる。

(庶務)

第10条 市民大学の運営に関する事務は、市民部市民協働・男女共同参画課において処理する。

(委託)

第11条 市長は、市民大学の運営の全部又は一部を委託することができる。

(雑則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、定期講座の期間、定員、内容、受講手続及び受講料の額並びに公開講座の内容その他市民大学の運営に関し必要な事項は、その都度、別に定める。

附 則(令和3年3月11日市民部長決裁)

この要綱は、令和3年3月12日から施行する。



# 令和3年度 浦添市てだこ市民大学実施要領

令和3年6月22日市民部長決裁

この要領は、浦添市てだこ市民大学実施要綱(令和元年5月7日市民部長決裁)第12条に基づき、令和3年度てだこ市民大学の公開講座の内容その他市民大学の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

## 1 期間

講座の期間は、令和3年5月から令和4年1月までとし、公開講座のみとする。

## 2 テーマ、目的、目標

### (1) テーマ

求む！うらそえ応援団

### (2) 目的

- ① 「うらそえ」のまちを知る
- ② 協働によるまちづくりを学ぶ
- ③ 協働のきっかけをつくる

### (3) 目標

次の項目について、表1により受講者の状況をアセスメントし、その達成状況を把握する。

ただし、オンライン上でのアセスメントについては表1の内容を適切な方法により実施する。

- ① うらそえのまちについて、魅力と課題に気付く
- ② 協働によるまちづくりを学び、当事者の意識をもつ
- ③ 協働によるまちづくりへの意欲を向上させ、活動のきっかけとする

## 3 内容及び日程

公開講座の内容及び日程は、表2のとおりとする。

ただし、日程及び内容等の詳細については、講師との調整等により、適宜、

変更するものとする

#### 4 受講手続

- (1) 受講申込書の様式は、浦添市てだこ市民大学受講申込書(様式1)とする。  
ただしオンライン上での申請に係る個人情報の収集項目等については、様式1と一致させるものとする。
  
- (2) 受講申込期間は、各講座の実施日の4週間前から2週間前までとする。  
ただし、期間後に受講申込があった場合において、講座の運営に支障が無いと認められるときは、講座の受講を決定することができる。

#### 5 受講料

受講料は、1講座500円とする。ただし、第1回目は無料とする。

表1 令和3年度 浦添市てだこ市民大学のアセスメントシート

アセスメント項目の問いについて、次の基準で評価点数にチェックしてください。

5(とてもよくあてはまる) ⇔ 3 ⇔ 1(全くあてはまらない)

| 項目          |   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| まちづくり協働について |   |   |   |   |   |   |
| 1           | うらそえのことが好きだ   |   |   |   |   |   |
| 2           | うらそえの将来像をイメージすることができる                                     |   |   |   |   |   |
| 3           | 地域の課題に興味を持った  |   |   |   |   |   |
| 4           | 地域の課題は自分のことだと感じる  |   |   |   |   |   |
| 5           | 協働によるまちづくりに参加してみたいと思う                                     |   |   |   |   |   |
| 6           | 協働によるまちづくりについてもっと知りたい                                     |   |   |   |   |   |
| 講座内容について    |   |   |   |   |   |   |
| 1           | 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください(自由記入)                            |   |   |   |   |   |
| 2           | 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください(自由記入) |   |   |   |   |   |
| 3           | 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください(自由記入)                 |   |   |   |   |   |

表2 令和3年度 浦添市てだこ市民大学の講座内容と日程

| 回 | 日時          | 講座内容                                |  | 受講方法           |
|---|-------------|-------------------------------------|--|----------------|
| 1 | 2021年<br>5月 | 基礎講座(無料)<br>①学長講話<br>②『Zoom でつながろう』 | ○浦添の姿を知る<br>○浦添の将来像を知る<br>○Zoom を使ってオンラインで繋がることを体感してみる | ①動画配信<br>②Zoom |
| 2 | 8月          | 『市民協働を始めよう』                         | ○市民協働について知る  | Zoom           |
| 3 | 11月         | 『地域で育てる子どもたち』                       | ○地域における子ども支援について知る                                     | 動画配信           |
| 4 | 2022年<br>1月 | 『うらそえの歴史』                           | ○てだこのまち浦添の歴史を知る  | 動画配信           |

※日程や内容は、変更する場合があります

様式 1

浦添市てだこ市民大学受講申込書

申込日： 年 月 日

|         |   |
|---------|---|
| フリガナ    |   |
| 氏名      |   |
| メールアドレス |   |
| 住所      |   |
| 電話番号    |   |
| 受講申込講座  | <input type="checkbox"/> 第 1 回(※無料) <input type="checkbox"/> 第 2 回 <input type="checkbox"/> 第 3 回 <input type="checkbox"/> 第 4 回  |
| 講座情報入手先 | <input type="checkbox"/> 広報うらそえ <input type="checkbox"/> チラシ・ポスター <input type="checkbox"/> 知人の紹介<br><input type="checkbox"/> 浦添市のホームページ <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 自由記入欄   | (受講目的・講師への質問など)   |

①【Zoom 講座中における、画像等の公開に関して】

Zoom 講座実施中の講演について、受講生のお名前と画像は、原則、ミーティング画面に公開されます。あらかじめ確認の上、以下にチェックをお願いします。

Zoom 講座中の名前や映像の公開について

同意します 同意しません

②【本市ホームページ等における、個人情報の公開に関して】

講座実施中の画像について、講座の様子として本市ホームページ等において公開する可能性があります。あらかじめ確認の上、以下にチェックをお願いします。

本市ホームページ等の名前や画像の公開について

同意します 同意しません

上記①及び②について、チェックがない場合は、同意しないものと判断いたします。

## 浦添市てだこ市民大学沿革

本市は、市民一人ひとりの学習の成果を本市のまちづくりに活かせる社会、また、多様な学習を通して、まちづくりに関われる社会の実現をめざしています。その理念の下、第三次浦添市総合計画(平成13年～22年)の重点施策として市民大学構想が実現し、4学部、2ヶ年制の市民対象の大学として平成20年10月に開学、平成21年5月に1期生が入学し、現在に至っています。

本市民大学は、「学習してきた成果を地域社会や学校教育等に還元していく」ことを理念とし、キーパーソン、リーダーとして、これからのまちづくりに寄与できる人材を育成することを目的とし、第四次総合計画(平成23年～32年)では、「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」に取り組むことがより重要とされ、協働のまちづくりに向け本市民大学の担う役割は、さらに重要性を増しております。

令和元年度より、本市民大学は制度および講義内容を見直し、「市民協働によるまちづくり」の学びを充実して参りました。

卒業生及び受講された皆さんは、延べ363名となりました。卒業後は、自治会の役員、市社会教育指導員、学校支援地域本部事業コーディネーター、放課後子ども教室コーディネーター、スポーツ推進委員、青少年健全育成市民会議事務局員、各種審議会、各種団体(市PTA連合会、市婦人連合会、市子ども会育成連絡協議会、市民生委員・児童委員連絡協議会、人権擁護委員、行政相談員)等の役員・委員等、各分野で活躍しています。

### 【 経 過 】

平成19年11月29日(土) 「浦添市まちづくり生涯学習推進協議会」に「市民大学」開学を諮問

平成20年7月31日(木) 「浦添市まちづくり生涯学習推進協議会」より浦添市てだこ市民大学の開学展開について答申

平成20年10月18日(土) 浦添市てだこ市民大学 開学

学長：儀間光男(市長) 副学長：西原廣美(教育長)

4学部・2年制 コミュニティビジネス・地域振興 学部、健康福祉・スポーツ振興学部、文化振興・教養学部、地域・学校支援コーディネーター養成学部(事務局を浦添市教育委員会生

涯学習振興課に置く)

- 平成21年5月10日(日) 第1期生 入学式(4学部・66名)
- 平成22年5月9日(日) 第2期生 入学式(4学部・43名)
- 平成23年3月17日(木) 第1期生 卒業研究発表会
- 3月20日(日) 第1期生 卒業式(4学部・47名)
- 5月15日(日) 第3期生 入学式(4学部・48名)
- 10月 副学長 津波清(教育長) 就任
- 平成24年3月11日(日) 第2期生 卒業研究発表会
- 3月18日(日) 第2期生 卒業式(4学部・38名)
- 5月13日(日) 第4期生 入学式(4学部・48名)
- 平成25年2月 学長 松本哲治(市長) 就任
- 3月10日(日) 第3期生 卒業研究発表会
- 3月17日(日) 第3期生 卒業式(4学部・36名)
- 5月19日(日) 第5期生 入学式(4学部・41名)
- 6月 副学長 池原寛安(教育長) 就任
- 平成26年3月2日(日) 第4期生 卒業研究発表会
- 3月16日(日) 第4期生 卒業式(4学部・37名)
- 5月18日(日) 第6期生 入学式(4学部・38名)
- 平成27年3月1日(日) 第5期生 卒業研究発表会
- 3月15日(日) 第5期生 卒業式(4学部・29名)
- 3月 地域・学校支援コーディネーター養成学部を地域・学校支援学部  
へ名称変更
- 6月14日(日) 第7期生 入学式(3学部(コミュニティビジネス・地域振興学  
部は休部)・28名)
- 平成28年2月28日(日) 第6期生 卒業研究発表会
- 3月13日(日) 第6期生 卒業式(4学部・26名)
- 4月25日(月) 第8期生 入学式(3学部(地域・学校支援学部は休部)・20名)
- 平成29年2月25日(日) 第7期生 卒業研究発表会
- 3月12日(日) 第7期生 卒業式(3学部・22名)
- 4月21日(金) 第9期生 入学式(コミュニティビジネス・地域振興学部・11  
名)
- 5月 副学長 嵩元盛兼(教育長) 就任

平成30年 2月24日(土) 第8期生 卒業研究発表会  
 3月10日(土) 第8期生 卒業式(3学部・12名)  
 4月2日(月) 学部制を廃止し、修学期間を1年とする  
 事務局を市民部市民協働・男女共同参画課へ移管  
 5月17日(木) 第10期生 開講式(20名)  
 平成31年 2月16日(土) 第9期生 卒業式・卒業研究発表会(1学部・4名)  
 第10期生 卒業式(16名)  
 3月3日(日) 浦添市てだこ市民大学開学10周年記念式典・同窓会  
 令和元年 5月23日(木) 令和元年度開講式(14名)  
 9月28日(土) 令和元年度閉講式(受講証交付者13名)  
 令和2年 4月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を延期  
 9月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止  
 令和3年 1月16日(土) 性の多様性の尊重についての講演会 ※動画配信  
 令和3年 6月26日(土) 令和3年度第1回公開講座開催  
 令和3年 8月28日(土) 令和3年度第2回公開講座開催  
 令和3年 10月23日(土) 令和3年度第3回公開講座開催  
 令和4年 1月22日(土) 令和3年度第4回公開講座開催

【期ごと卒業生又は受講者の状況】

単位：人

| 年度 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H30 | R元 | R2 | R3 | 合計  |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 期  | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  |    |    |    |     |
| 人数 | 47  | 38  | 36  | 37  | 29  | 26  | 22  | 12  | 4   | 16  | 13 |    | 83 | 363 |

- \* 第1期から第10期までは卒業生、令和元年度から令和3年度は受講者の人数です。
- \* 第1期から第9期までは2年制、第10期は1年制です。
- \* 令和2年度は国および県によるコロナの緊急事態宣言のため、受講者はいません。
- \* 令和3年度は公開講座のみ開催。

